

## 第4学年音楽科学習指導略案

日 時	6月7日(水)	第5校時
対 象	4年1組	33名
場 所	音楽室	東校舎3階
指導者	主任教諭	岩本京子

1 題材名 「アンサンブルを楽しもう」 教材名 「キャプテン キッド」

### 2 題材のねらい

- ・思いや意図に合った表現をするために必要な演奏する技能を身に付ける。
- ・曲の特徴を捉えて表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。
- ・曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。

### 3 単元計画(6時間)

時	学習活動(概要)	エデュスクラムの活用
1	題材を通しての学習活動について知る。曲想をつかみ階名唱をする。担当楽器を決める。	題材の最終的な到達点と毎時間の目標を全体で理解し作業を進める。 ・進捗状況を意識させるため、学習カードに達成度を記入する欄を設ける。 ・パートリーダーを中心にパート毎に演奏しアイテムを動かしていく。 ・学習カードに毎時教師からのコメントを書く。 ・学習カードの裏面に、「合奏を自分たちの音楽にしていくためのポイント」を記載し、それをブックの替わりとする。
2	担当楽器のリズムや旋律をつかむ。	
3	主旋律と副次的旋律等の関わり合いに気付き、担当楽器で演奏できるようにする。	
4		
5	録音をし、良い点や改善点等を出し合いよりよい演奏に生かす。	
6	録音をし、学習を振り返る。	

### 4 自律的、協働的な学びを充実させるための手だて

#### ○ねらいや学習活動

- ・曲と出会い、曲想について意見を出し合い、それをもとにクラスの目標を決める場の設定。
- ・自律的(個別最適の学び)、協働的な学びができるよう、タブレットで各楽器の演奏動画を見られるようにする。
- ・その日の個人の目標は、前時の振り返りの時に考えておき、個人の学習時間(演奏時間)を確保する。

#### ○アイテムやフリップ、完成の定義

- ・目標に到達するために「何ができるようになるといいか」「何を理解するといいのか」をみなで考え、それをアイテムとする。
- ・それぞれが担当する楽器もアイテムとする。(本合奏は11種類8パートとする。)
- ・個人の進捗状況は学習カードに書き込めるようにする。またクラス全体の進捗状況はクラス共有のフリップを使い一目で把握できるようにするだけでなく、耳で聴いて判断する時間を設ける。
- ・第1時に自分たちで決めたクラスの目標を完成の定義とするが、教師のチェックを受けることによりフリップを進めることができることとし、技能の定着や、音楽の資質・能力の育成を図る。

#### ○ブック

- ・楽譜や範奏動画もブックの1つと考え、演奏するための大きな手がかりとする。
- ・使用する楽譜はフルスコアではなく、担当楽器のみの音がかかれていた楽譜を使用する。
- ・学習カードに「合奏を自分たちの音楽にしてくれたためのポイント(全体・個人)」を記載する。

5 本時（3／6）

(1) 本時のねらい

○進捗状況を意識し、音楽活動を楽しみながら、クラスや自分の目標に向けて主体的・協働的に学習活動に取り組む。

(2) 本時の展開（6時間扱い3時間目）

学習内容	予想される児童生徒の反応	支援 ■ 評価 ◎
<p>1 クラス全体の目標を確認し、個人で本時の目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>2 個人で立てた目標に向けて練習したり、演奏の工夫をしたりする。 また、パート毎に合わせて演奏し、教師のチェックを受け次の課題に進む(アイテムを動かす)。</p> <p>3 クラス合奏をし、より良い演奏に向けて意見交流をする。</p> <p>4 本時の学習を振り返りカードに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「アの部分が難しいからアを中心に練習したいな。」</li> <li>・「自分のパートのリズムが分からないから、今日はそこを練習したい。」</li> <li>・「何から手をつけたらいいかわからない…」</li> <li>・「同じパートの友達と合わせて演奏してみよう。できるかな。」</li> <li>・「ここのリズムが分からないな、友達に聞いてみよう。」</li> <li>・「今日はスタッカートに気を付けて演奏してみよう。」</li> <li>・「さっぱりわからない。どうしよう。」</li> <li>・「ここはこうして演奏するんだよ。」</li> <li>・「合わせて演奏して先生にチェックしてもらおう。」</li> <li>・「前よりも弾む感じ(スタッカート)が上手くできたみたい。」</li> <li>・「他の楽器の音を聴く余裕が出てきた！」</li> <li>・「もう少し楽器の音をきれいに出了たい。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 範奏 CD を聴き学習の雰囲気をつくる。</li> <li>■ 学習の最終到達点を確認し、そのために今どんな活動が必要かを問いかける。また、具体的なイメージがわからない児童には、どんな活動があるかを伝え支援する。</li> <li>■ 主旋律に対して自分のパートがどういう動きをしているのかをつかめるように支援する。また同じパート内でわからないところを教え合うように促す。また、技能を身に付けるために、必要に応じて支援したり、タブレットを見るよう促したりする。</li> <li>■ 特に、入るタイミング等がつかみづらいパートは歌ったり一緒に演奏したりして支援する。</li> <li>■ 前時と比べて何ができるようになったのか、もっとできるようになりたいことは何かを問いかける。</li> <li>◎ 進捗状況を意識し、音楽活動を楽しみながら、クラスや自分の目標に向けて主体的・協働的に学習活動を行っている。(主体的に学習に取り組む態度)</li> </ul>